

東温市教育委員会 令和7年8月定例会会議録

開会の日時及び場所 令和7年8月26日（火）午前 9時 00分
東温市庁舎 4階 大会議室

議事に出席した委員	教育委員	本田 隆彦
	教育委員	大西 正志
	教育委員	大野 誠司
	教育委員	石丸 知美

議事に出席した職員	教育長	八木 良
	事務局長	高須賀 章夫
	学校教育課長	松本 則一
	保育幼稚園課長	近藤 秀之
	生涯学習課長	森 誠司
	給食センター長	高須 義春
	学校教育課長補佐	大北 さおり
	学校教育指導主事	加地 直子

傍聴人 1人

1 開会宣言（9：00）

大北補佐 （開会を宣す。）

2 教育長あいさつ（9：00）

八木教育長 最初に本教育委員会の傍聴希望者の対応を確認させていただきます。
現在傍聴者が1名おりますので、許可することによってよろしいでしょうか。

委員全員 （意義ない旨伝える）

（傍聴人入室）

八木教育長 それでは改めまして、皆さんおはようございます。本日は先週の総合教育会議に引き続きまして、8月の定例教育委員会にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。また、今日の教育委員会の後には、続いて事業の事後評価で5つの小中学校を回る予定としております。最終2時過ぎようかと思いますが、本日もよろしくお願いいたします。

さて、立秋をとくに過ぎたとはいえまだまだ猛暑が続いております。子どもたちが楽しみにしておりました夏休みも、残すところあと5日となりました。今のところ大きな事件や事故等の報告はございません。市内の児童生徒が、2学期に向けて、それぞれの目標に向けて学びや体験を重ねていることと思います。地域の皆様の温かいご支援のもと、子どもたちが健やかに成長できる環境が整っていますことに、改めて感謝したいと思っています。

本日は令和6年度対象の教育委員会点検評価についてご報告させていただきます。これについて委員の皆様にご協議いただき、これからの教育行政の推進に役立てたいと考えております。忌憚のないご意見、ご感想等をいただければと思っていますので、よろしくお願いいたします。

また、今年の4月に実施しました全国学力学習状況調査につきまして、本市の状況を報告させていただきます。昨年に引き続き小中学校ともに全教科におきまして県平均を上回っています。また、質問紙調査でも多くの項目において好ましい傾向を示していると思っています。ただ、この全国学力学習状況調査につきましては、結果のみに一喜一憂するのではなく、東温市の子どもたちの長所と課題を明確にし、その長所を一層伸ばすとともに、課題を解決し、より一層の確かな学力の定着向上を図っていきたいと考えております。

結びに当たりまして、来週には2学期が始まります。東温市の未来を担う子どもたちのために私たち教育委員会が果たすべき責任は大きく意義深いものがあると考えています。どうか本日も忌憚のない幅広いご意見をお出しいただき、実りある会となりますようよろしくお願いいたします。それでは、8月の定例教育委員会を開会いたします。

3 前回会議録の承認

八木教育長 前回会議録の承認ですが、承認いただけますでしょうか。
委員全員 (意義ない旨伝える)

4 各課報告

松本課長 (当日資料1、2ページに基づき、学校教育課に関する行事報告及び行事計画の説明を行う。)
近藤課長 (当日資料2、3ページに基づき、保育幼稚園課に関する行事報告及び行事計画の説明を行う。)
森課長 (当日資料3、4、5、6ページに基づき、生涯学習課に関する行事報

告及び行事計画の説明を行う。)

高須所長 (当日資料6、7ページに基づき、学校給食センターに関する行事報告及び行事計画の説明を行う。)

八木教育長 各課報告について、ご意見ご質問ございましたか。

大野委員 25日から26日まで小学校が修学旅行に行きますが、どのような方面に修学旅行に行くのかと、どのような組み合わせで行くのか、わかたら教えてください。

松本課長 南吉井小学校が単独で実施しまして、川上小学校、東谷小学校、西谷小学校3校が合同で実施する予定となっております。修学旅行先などの計画はまだ提出されてはいないのですが、例年広島方面で、平和記念公園、宮島などの観光と、みろくの里のテーマパークなどに行くようにしております。

本田委員 北吉井小学校と上林小学校、拝志小学校は、以前合同でやっていたと思いますが、今年度はずれた実施になっていたと思います。来年度以降分かれたままなのか、合同実施が考えられるのか。どんな状況なのでしょう。

八木教育長 今年は上林小学校が単独で行かせてやりたいという保護者からの意見があり、学校長が判断したということです。引き続いてやるのかどうかはまだ聞いておりません。

大西委員 幼稚園開放について、西谷幼稚園の参加者が20名ということで、たくさん参加してくれているのがありがたいなと思いました。

近藤課長 ちょうどびよびよクラブがあり、それと一緒にやったということで人数が多かったのかなと思います。

大西委員 この子らが入園してくれたら非常にありがたいなと思いました。

5 議事

議案第49号 令和7年度(令和6年度対象)教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価について

高須賀局長 (資料に基づき、説明する。)

八木教育長 最初に質問をしていただいた後、それぞれご意見、ご感想をお聞きたいと思います。まず、質問等ございませんか。

委員全員 (特になし)

八木教育長 では、それぞれのご意見ときにご質問があれば言っていただきたらと思います。ご意見感想等含めてお願いします。

石丸委員 学識経験者の方がご自身の経験から現在の学校や家庭の状況を踏まえ

て適切なコメントをされていると思います。事務局の皆様が心砕いてやってくださった事業なので、個人的には点数はもっと高くても思ったのですが、この報告書の性質上、数字としても適当かと感じました。

大野委員 どの事業の評価もほぼ4と3で、もう少し5の評価があっても良いのかなと思いました。地域学校協働活動について、協働活動サポーター制度は令和6年度末時点で158人の登録となったとあります。これは非常に多い数かと思います。学識経験者の方も、子どもたちがそれぞれの場所で力を発揮することで大人と子どもが我が事として一緒に社会を創っていく取り組みが必要と考えます、と書かれているのですが、この後の学力学習状況調査の質問項目の中に、あなたはこの東温市をより良くしていきたいと思いますか、という質問項目があり、そう思う、どちらかといえばそう思う、という値が全国よりも県よりも高くて、やはりこの段階から地域の学校協働活動を通して、ふるさとを愛する心や人のために尽くしたいという心が備わっているのではないかと思います。

八木教育長 東温市を良くしていきたいかという項目については例年評価が高く、地域の方々の子どもに対する思いの表れと思っています。ありがとうございます。

大西委員 適切な評価ですが、もう少し評価が高くていいかなという項目がありました。豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進や、確かな学力を育てる教育の推進、そういったところです。また、GIGAスクール構想に伴う積極的なICTの活用で評価4と非常に高くなっているのですが、今後生成AI等も含めた活用もやっていくと思われる中で、東温市の子どもの中で極端に優秀な子がうまくこれらを活用してくれるように導いてあげたら、スティーブジョブズさんやイーロン・マスクさんのような人が出てきてくれると東温市にとってもプラスになるのではないかと思います。もう1点、GIGAスクールの中で、先生も児童生徒もですが、格差が広がっている感じがします。情報モラル教育にも今後力を入れていく段階かなと感じます。

本田委員 学識経験者の方からは市の点検評価の内容に沿って、端的に的確なご意見をいただいて、全体的にすっきりまとめていただいていると感じました。今年度は昨年度の評価より少し上がっていますが、実施状況を見ていきますともっと自信を持って評価していただいてもいいのではないかなというところがあります。例えば、えひめ人口減少対策総合交付金事業の拡充ですが、出産世帯応援事業で、県で示された夫婦の年齢要件である29歳以下を拡充し、年齢制限を撤廃してということ

で、東温市独自の取り組みをしていただいておりますので、このあたりは3ではなく4でもいいと思っております。

八木教育長 ありがとうございました。全体を通して、言い残したことなどございませんか。ご承認いただけますでしょうか。

委員全員 (意義ない旨伝える)

6 その他

(1) 教育委員会共催・後援事業について(令和7年7月承諾分)

松本課長 (資料に基づき、説明する。)

(2) その他の報告・協議事項について

ア 東温市立中学校における部活動改革に関する進捗状況報告

松本課長 (資料に基づき、説明する。)

八木教育長 方向性については前回からは変更ございません。これからの段取りについて説明させていただきましたが、ご質問等ございませんか。

大西委員 想定スケジュールについて、休日の活動については令和9年からだんだんなくしていくとありますが、2の平日の活動についての下に入っている、これは休日の活動と平日の活動の間に入れた方が良いと思います。令和12年度からは中1がいなくなる。令和10年度からは平日の活動もなくしていく。令和13年度からはそれも減っていくような感じに印象を受けます。私が勘違いしましたので、1と2の間へ3のスケジュールを入れた方が読む方がわかりやすいと思います。

八木教育長 ありがとうございます。その方がわかりやすいような気はします。

松本課長 わかりました。また見直しをします。

本田委員 なぜ地域移行をするのかというところですが、教職員の負担軽減の面からのみ書いているようなところもありますが、生徒数減少になって、生徒が希望する部活動に取り組めない。単独校を維持するのが困難になってくる、というような面についても触れておくとうご理解いただけやすいと思います。そういった面での対応にもなるということで、受け皿があるかどうかわからないということも入れる必要があると思います。

八木教育長 ありがとうございます。受け皿減少とチームが組めない状況も実際に起こっておりますので、そういったことも入っているといいと思います。

石丸委員 部活動を地域に展開します、となつて、保護者は地域クラブって何?となります。地域クラブというのが見えてこないということで、文科省の資料などを見て、これから要件などを詰めていくということで、まだ

まだ見えてこないし、皆、現場としては手探りかなと思うんですけど、2年後に迫っているので受け皿としての地域クラブを早く用意してあげたいという気はします。先生方の人材バンクもやっていますが、人がいなくてクラブの運営すべてを先生方をお願いせざるをえないような状況になってしまったら、先生の負担が減るどころか倍になりますので、地域の人、保護者ですとか地域のスポーツやりたいという人も巻き込んで、簡単な運営とかそういうこともお願いできたらとは思いますが、そこでやはり地域クラブとは何？って、何かできることはないかなと立ったときに、全然見えてこないの、説明の QR コード読み込んだ先ではもうちょっと具体的に、一般市民でもできそうな何かがあると協力が得やすいのかなと思います。

八木教育長 ありがとうございます。地域クラブといってもピンとこない家庭もあるかと思いますので、そうしたいと思います。それから、生涯学習課が地域のスポーツ協会、スポーツ団体の一覧表を持っておりますので、提供していただいて、わかるようにできたらと思っています。確認しますと、現在2つの中学校にあるスポーツの部活動は、ほぼすべて市内にスポーツ団体がありますので、そこらも参考にできるような形にしたいと思います。また、文化協会に加入している団体も、吹奏楽をはじめ、ほぼ網羅しておりますので、そこらも含めて情報提供できるような形で進めたいと思います。

本田委員 今朝の新聞で、教職員の地域クラブへの指導者のことについて、午前中だけ体育専科として勤務して、夕方から地域クラブの指導に携わるような方法も考えているというのを見ました。そういう方向に進めば、課題は多いと思いますが、教職員の方も楽に指導に当たることができるという気がしました。

八木教育長 大きな制度の変更になるので単独でというのは難しいかもしれませんが、そういう制度ができればまた検討したいと思います。

大野委員 以前研究指定校を数校作って試してみて決定しますというお話があったと思います。私が気になったのは、このパンフレットの少子化への対応、教職員の負担軽減のところの冒頭に、生徒に応じたきめ細かな対応が求められる中とあって、生徒数減少による教職員数の減少などから、教職員が部活動指導すべてを担うには限界がきていますって言っているんです。この生徒に応じたきめ細かな対応の位置がここがいいのか、それとも未来を担う中学生世代のために地域全体で中学校の文化スポーツ活動環境を維持することによって、生徒に応じたきめ細かな対応がさら

にできるようにしていきたいのか。この文章の位置を考えていただいたらと思います。地域移行することで生徒に応じたきめ細かな対応ができるようになるという文章の方が、趣旨と合っているかなと思います。

八木教育長 分かりました。そこらあたりも検討したいと思います。他ございませんか。そうしましたら、今ご指導いただいたことを盛り込んでまた新しく文書等を作成しまして、2学期に入りましたら学校の方に配布しまして、保護者にも配布する。そして保護者が大体こういうふうになるというのがわかった時期にプレスの方にも情報提供をさせていただくということで、9月の上旬にそういう発表をしていきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

イ 「令和7年度全国学力・学習状況調査」東温市の調査結果について
加地主事 (資料に基づき、説明する。)

八木教育長 この件につきまして、ご質問等ございませんか。

大西委員 中学校の理科の分布グラフを見ますと、5という数字が全国、愛媛県と比べても高い数値を示してしまして、これは生徒の能力も高いと同時に、先生自身の指導力も高く、理解しやすく生徒が理科の授業に関心を持つような授業をしていただいている結果がこの数字に表れていると思います。これまでの記憶するような学習というのは、おそらく生成AIによって変わっていくと思いますが、こういう理科とか自分が想像するようなことについては伸ばしていただくと、その子の持っている能力がさらに発揮できるんじゃないかと感じました。気になったのは、ゲームなどをする時間が2時間以上という生徒が何割かおられました。全国や県内よりは少ないですが、子どものためには、できたら2時間未満ぐらいの子が増えたらいいなと思います。それ以外の生活態度については、東温市の子どもはきちんとした朝食も取るし、早寝早起きもできて安心しております。

大野委員 学力が向上している要因はやはり先生たちの指導力の向上だと思います。指導力が向上できるようにワイドなどを導入していただいて、先生たちが面白い授業を作りやすい環境整備を教育委員会の方でもらっているの、かなり大きな力になっていると思います。これからも機器を上手に活用して授業改善を進めていくことが大事かと思いました。

石丸委員 生活習慣に関する質問で、課題の解決に向け自ら取り組む、と答えた割合は全国平均を下回っている。消極的なお子さんが多いと評価した方もいらっしゃるして、これが東温市の子どもたちなのかなと思います。

す。学校では運動会、音楽発表会などで、ちょっと難しいことにもチャレンジさせてあげて、いろんな体験をさせていただけたらと考えております。よろしくお願いいたします。

本田委員 学力について、チャートを見ますとほとんどの事項が県、国と同等かやや高い状態です。これ以上上を目指すのではなくてこのまま進めていったのでいいのではないか。今後もバランスのとれた育成に努めていただきたいと思います。否定的な回答があった項目ですが、学習の時間の長さだけが問題ではありませんし、数学得意だ、好きだ、よくわかる、あたりも、先生の指導の問題もあるかもしれません。小学校でも自分で考え、自分から取り組んでいたとか、小中学校、学んだことを生かしながら自分の考えをまとめる活動を行う、というところで全国より低いというところが気になりました。主体的に考えて主体的に行動する力だと思いますが、こういった力は生きる力としてとても大切な部分だと思いますので、これについては今後指導のあり方について検討が必要ではなかろうかと感じます。

八木教育長 教えられるではなく、自ら学ぶ授業をこれからもやっていきたいと思っています。ありがとうございました。

(3) 定例会の日程について

令和7年9月定例会の日程について

日時 令和7年9月30日(火) 9時00分から

場所 4階 405会議室

令和7年10月定例会の日程について

日時 令和7年10月28日(火) 9時00分から

場所 4階 大会議室

八木教育長 この後は非公開で行いたいと思いますので、傍聴の方は退室をお願いいたします。

(傍聴人退室)

(4) 令和7年度要保護・準要保護児童生徒の認定について

松本課長 (資料に基づき、説明する。)

(5) 令和7年7月末現在のいじめ・不登校の状況について

松本課長 市内の小中学校における不登校状況について、小学校では合計が25名、

中学校では合計が 56 名、小中学校合わせて 81 名です。

非行について該当はございません。

いじめの状況について、認知件数は小学校が 7 件、中学校が 1 件で、合計 8 件です。本年度のいじめの解消状況について、いじめが解消している（3 か月を目安に解消を判断）が小学校 5 件、中学校 1 件、解消に向けて取組中（3 か月経過していないもの）は小学校 21 件、中学校 6 件、解消に向けて取組中（3 か月経過しているもの）が小学校 0 件、中学校 0 件で、合計 33 件です。前年度からの引継ぎでは、いじめが解消している（3 か月を目安に解消を判断）が小学校 9 件、中学校 5 件、解消に向けて取組中（3 か月経過していないもの）は小学校 0 件、中学校 0 件、解消に向けて取組中（3 か月経過しているもの）が小学校 0 件、中学校 0 件で、合計 14 件です。

八木教育長 そうしましたら以上で本日審議していただく内容は終わりましたので、
進行のほうを事務局にお返しします。

大北補佐 （閉会を宣す。）
 （午前 10 時 30 分閉会）